

昭和六十年十二月二十七日発行

玉藻 第二十一号 目次

額田王の一考察	白石節子	1
——その出自について——		
若小君物語の位相		
——宇津保物語における文脈の差異と統合——	三田村 雅子	12
『西鶴諸国ばなし』卷三の七		
「因果の抜け穴」考	今野 ゆかり	30
芥川龍之介「侏儒の言葉」論		
——その創作過程とアフォーリズムの世界		
に関する一考察	濱田 葉絵	37
芥川龍之介小説		
——「狂人の娘」▽「歯車」▽「或阿呆の一生」		
△「復讐の神」▽「歯車」と父の△性▽への		
忌避をめぐる——	宮坂 覺	47
昭和五十九年度卒業論文題目		
彙報		56
		53

玉 藻 第二十一号

昭和六十年十二月二十日 印刷

昭和六十年十二月二十七日 発行

編集兼 フェリス女学院大学国文学会
発行人 代表者 福田 準之輔

印刷所 ヨシダ印刷(両国)工場

発行所 フェリス女学院大学国文学会
横浜市中区山手町三七